

熊楠ワークス

/ C / O / N / T / E / N / T / S /

vol
26

第15回南方熊楠賞授賞式 …1面

南方熊楠賞受賞記念講演 …2面

南方熊楠と熊野の温泉 安田忠典 …14面

「熊楠」生物覚え書① 土永知子 …17面

熊楠ゆかりの地を訪ねる 中瀬喜陽 …18面

ケンケンケソノ

『ありじごく100の方言』という子ども向けの本を、以前読んだことがあります。タイトルはうろ覚えですが、全国のアリジゴク
の方言がたくさん紹介されていました。

ところが、その本には、わたしが使っていたハマコソは載って
いませんでしたし、『南方随筆』に紹介されている「ケン
ケンケソノ」や「ケンケンムシ」もなかったように覚えて
います。

ハマコソと呼ぶのは、手のひらに乗せるとコソコソと
バクバクしてこそばいからだと思うのですが、わたしの父の
育った外浜(そとはま)、つまり今の和歌山市御膳松は
「ハマオコマン」と呼んでいます。

熊楠の頃のケンケンケソノは何となくコソバイ感じ
がしてわかりますが、ハマオコマンとは一体なぜか!砂
浜に巣を作るからだとは思いますが、それにしても…。

同じ和歌山市でも、知っているだけでこんなに違った
呼び名があるのです。

今、和歌山県の方言を使った「ことばあそび」を作ら
うとしています。『おしえてわかやま100シリーズ』の一
つ「方言編」で、「妖怪編」はすでに出ました。この妖
怪を調べている頃、南方熊楠の名を知ったのですが、
今も著作をバラバラとめくっていると「熊楠編」も100シリーズで作り
たいなあ、と思ってきました!



絵・エッセイ/
松下千恵(わかやま絵本の会代表)
絵は絵本「南方熊楠」から